

2025年12月期 第2四半期 決算説明資料

2025年 8月 5日

 **立川ブラインド工業株式会社**

(東京証券取引所 プライム市場 証券コード 7989)

- 
1. 2025年12月期
第2四半期決算概況 2
 2. 2023年～2025年
中期経営計画の進捗状況 11
 3. 企業価値向上の取組み 20
(資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応)

Appendix



1. 2025年12月期 第2四半期決算概況

売上高は主力の室内外装品関連事業が好調に推移し、
前年比+602百万円の増収。

セグメント	売上前年比	当期業績
室内外装品 関連事業	 +3.3%	主力ファブリック製品のリニューアル 及び価格改定を実施 成長製品（調光ファブリック製品等）の 売上が拡大
駐車場装置 関連事業	 △3.9%	利益率の高い改修工事が増加するも、 パズルタワーの新設物件が減少
減速機 関連事業	 +5.8%	工作機械需要が回復傾向 汎用製品やオーダー製品の売上が増加

連結業績

主力の室内外装品関連事業において計画を上回る売上を計上し、連結売上高は増収。
主力ファブリック製品のリニューアルを浸透させるため、販促費用を積極的に投下
したため、営業利益・経常利益は減益。
政策保有株式や固定資産の売却により特別利益が発生し、当期純利益は増益。

(単位：百万円)

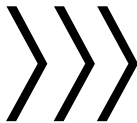
	2025年度第2四半期				2024年度第2四半期	
	金額	構成比	前年比	予算比	金額	構成比
売上高	20,771	100.0%	103.0%	101.3%	20,169	100.0%
売上総利益	8,736	42.1%	103.5%	97.9%	8,445	41.9%
販売費及び一般管理費	6,642	32.0%	106.0%	95.4%	6,269	31.1%
営業利益	2,094	10.1%	96.3%	107.1%	2,175	10.8%
経常利益	2,187	10.5%	95.7%	107.5%	2,284	11.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,734	8.4%	112.7%	121.3%	1,539	7.6%

資本効率の改善や総資産の縮減を目的に、固定資産や政策保有株式の売却を推進。
活用見込のない不動産や稼働率が低くなった福利厚生施設の減損処理や売却活動を推進。

施策
自社保有地の売却
稼働率が低下した福利厚生施設の売却
政策保有株式の売却



効果
保有コストの削減
総資産回転率の上昇
総資産額の縮減



貸借対照表への影響 (単位：百万円) (参考)

項目	2025年 第2四半期	2024年 期末
土地・建物売却	△18	△8
土地・建物減損	△329	△282
投資有価証券売却	△147	△339

損益計算書への影響

項目	2025年 第2四半期	2024年度
固定資産売却益	+166	+3
投資有価証券売却益	+369	+241
減損損失	△329	△286

室内外装品関連事業

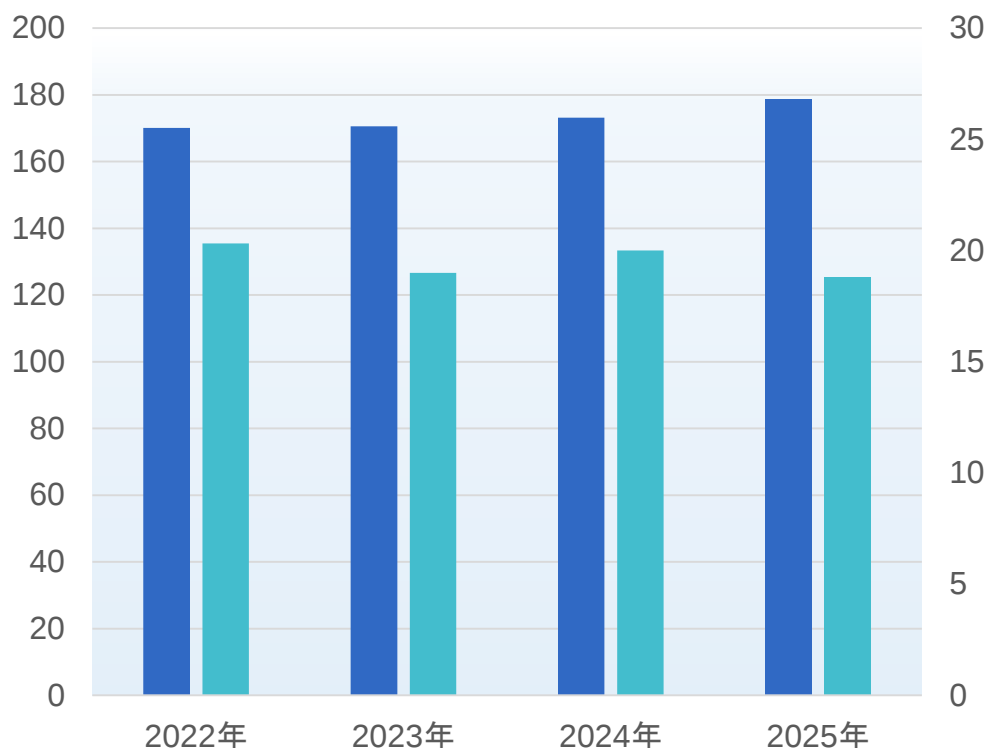
主力ファブリック製品の生地柄を、質感・配色・機能性を充実させたラインナップへ大幅リニューアル。

販促費用を積極的に投下した結果、上期の営業利益は減益。

売上、利益とも年初の計画を超えて進捗しており、通期目標の達成に向けて堅調に推移。

売上:億円

利益:億円



売上高

前年比

178億83百万円

103.3%

営業利益

前年比

18億81百万円

93.8%

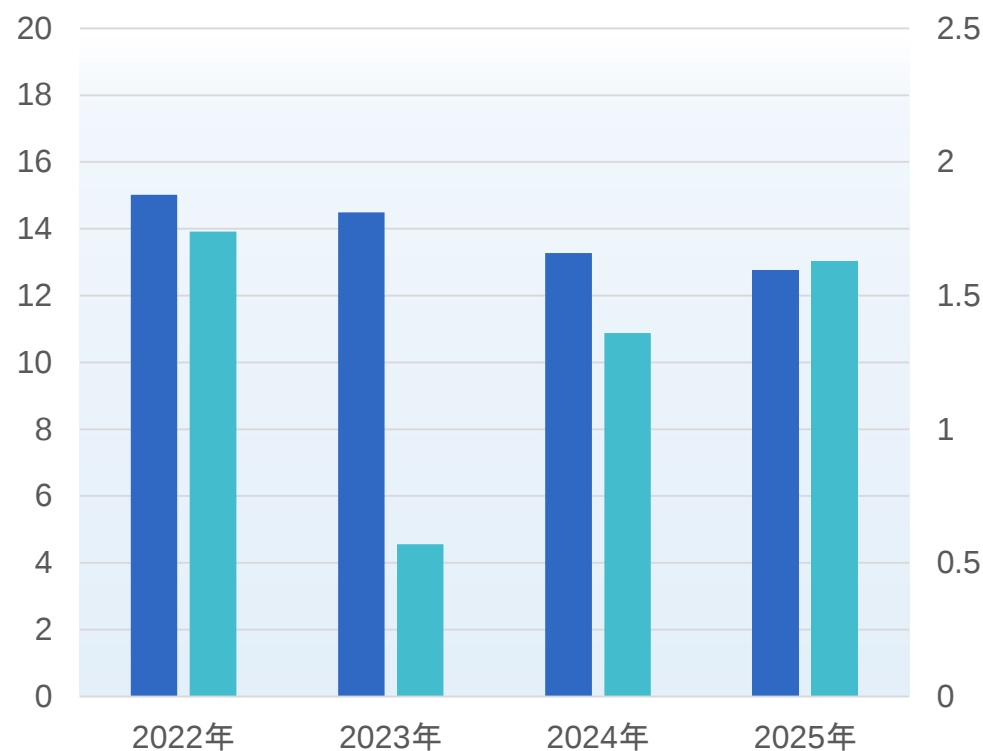


駐車場装置関連事業

パズルタワーの新設工事が減少するも、
利益率の高い改修工事の売上を伸ばし、増益を確保。

売上: 億円

利益: 億円



売上高

前年比

12億76百万円

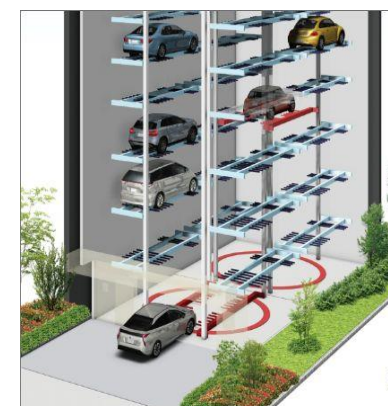
96.1%

営業利益

前年比

1億63百万円

120.1%

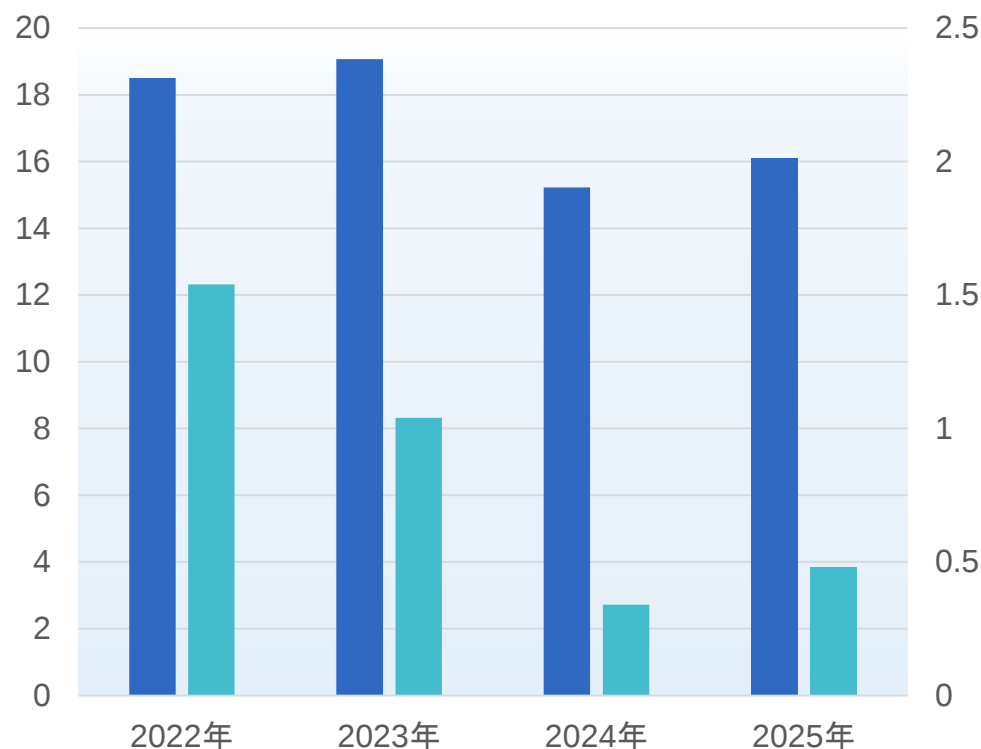


減速機関連事業

工作機械需要の市況が上向きとなったことや、産業用AGVの需要が高まり、汎用製品、オーダー製品の売上が復調。

売上: 億円

利益: 億円



売上高	前年比
16億11百万円	105.8%
営業利益	前年比
48百万円	142.8%



2025年12月期 中間連結貸借対照表

福利厚生施設の減損処理や政策保有株式の売却を進め、固定資産が減少。
成長投資や株主還元を強化し、現預金や純資産の抑制を進める。

単位：百万円

項目	2024年 12月	2025年 6月	増減
流動資産	39,563	40,687	+1,124
固定資産	24,279	23,638	△641
流動負債	7,916	7,619	△296
固定負債	2,937	2,713	△223
純資産	52,988	53,992	+1,003
総資産	63,842	64,325	+483
自己資本比率	83.0%	83.9%	+0.9%

主な増減要因

- 現預金 + 1,543
- 受取手形及び売掛金 △1,815
- 棚卸資産 + 739
- 有形固定資産 △553
(福利厚生施設の減損損失)
- 投資有価証券 △238
(政策保有株式の売却)
- 未払金 △438
- 役員退職慰労引当金 △331
- 利益剰余金 +1,091
(利益計上、配当)

不動産や政策保有株式の売却により、投資活動によるキャッシュ・フローにおいて、
現預金が増加。

単位：百万円

項目	2024年 6月	2025年 6月
営業活動による キャッシュ・フロー	+467	+2,016
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,013	+217
財務活動による キャッシュ・フロー	△485	△669
現金及び現金同等物の 増減額(前年同期比)	△1,003	+1,543
現金及び現金同等物の 期末残高	14,398	16,520

主な増減要因
● 営業活動 ・ 税金等調整前利益 + 2,373(前年並) ・ 売上債権の減少 + 1,397 ・ 棚卸資産の増加 △ 749 ・ 法人税、消費税の支払 △ 873 ※前期は支払条件の早期化を進めたため、 営業キャッシュ・フローが例年より減少
● 投資活動 ・ 有形固定資産の取得 △ 372 ・ 有形固定資産の売却 + 185 ・ 投資有価証券の売却 + 516
● 財務活動 ・ 期末配当金の支払 △ 641 1株32円(前年から8円増配)



2. 2023年～2025年 中期経営計画の進捗状況

ビジョン

タチカワビジョン2025 ～継続と進化～

ものづくりとマーケティング

経営基盤の強化

サステナビリティへの取組み

戦略

室内外装品関連事業

- ・マーケティングの継続・進化
- ・技術革新
- ・生産体制の強化
- ・戦略に必要な人材の確保と育成
- ・計画的な事業拠点整備

減速機関連事業

- ・個別品の差別化戦略
- ・カタログ品の販売強化

駐車場装置関連事業

- ・新規物件獲得強化
- ・付加価値提案による改造・改修物件の獲得

サステナビリティ

E (環境)

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・環境配慮型設計の推進

S (社会)

- ・人にやさしい快適な環境づくり
- ・健康経営の推進
- ・社員の多様性拡大

G (ガバナンス)

- ・コーポレートガバナンス強化
- ・リスクマネジメントの強化
- ・コンプライアンスの徹底

ものづくりとマーケティング

- 調光ファブリック製品「ルミエ」「エアレ」発売
- デジタルマーケティングの強化
- 技術研究棟、新成形棟稼働
- ホームタコス強化・バッテリー仕様導入
- 札幌製作所移転プロジェクト始動

経営基盤の強化

- 初任給引上げやベースアップ等の処遇改善
- キャリアのロードマップ策定
- 稼働率の低い福利厚生施設等の保有資産整理
- ジョブリターン制度導入、研修の充実
- 関東支店新設、事業所移転の推進

サステナビリティへの取組み

- 富士変速機 完全子会社によるガバナンス強化
- 取締役会の実効性評価実施
- GHG排出量の削減（Scope1、2）
2024年12月累計 5,644t-CO2(前年比 91.2%)
- 指名・報酬委員会の設置

● 主カファブリック製品

ロールスクリーン『ラルクシールド』・タテ型ブラインド『ラインドレープ』 リニューアル

心の整え方や自分らしい暮らし方を表現した、『ウェルビーイング』をテーマとした生地ラインナップに大幅リニューアル。また、水拭き機能に優れたFEEL CLEAR(フィールクリア)を新たに追加した他、省エネに寄与する遮熱性能・遮光性能を有する生地を拡充する等、機能性のある生地についてもリニューアル。



● 家庭向け電動製品 ホームタコスの強化（成長製品群）

通信環境の変化に伴う、IoTの急速な普及を背景に電動製品の需要が拡大傾向にあり、家庭向け電動製品「ホームタコス」を成長製品と位置づけ開発に注力。

主力のロールスクリーン等、バッテリー仕様対応製品を拡充したほか、調光タテ型ブラインド「ホームタコス エアレ」を新発売。そのほか、スマートフォンのアプリで製品操作ができる「スマホ操作」の拡充や「RFリモコン」のデザイン・機能性をリニューアル。



中期経営計画 連結業績目標の進捗状況

(単位：億円)

	2025年12月期 第2Q			2025年12月期 通期			中期計画 最終年度
	実績	計画比	前年比	年初予想	修正予想	前年比	2025年 業績目標
売上高	207.7	101.3%	103.0%	428.0	428.0	103.4%	445
室内外装品	178.8	101.4%	103.3%	359.8	359.8	103.3%	371
減速機	16.1	99.4%	105.8%	37.5	37.5	106.9%	41
駐車場	12.7	102.4%	96.1%	30.7	30.7	100.2%	33
営業利益	20.9	107.1%	96.3%	44.0	44.0	100.9%	44
経常利益	21.8	107.5%	95.7%	46.0	46.0	105.1%	46
親会社株主に帰属する 当期純利益	17.3	121.3%	112.7%	29.0	31.0	110.6%	29

【業績進捗】

- ・ 上期は、売上目標達成。経常利益は新製品発売に伴う販促物の先行投資により減益も、目標達成。当期純利益は、保有不動産や政策保有株式の売却を推進したことで業績予想を大きく上回った。
- ・ これを受け、通期業績予想について、当期純利益を上方修正。
今期は中期経営計画最終年度であるが、営業利益以下 業績目標達成の見通し。

・メーカーとして必要な経営資源を強化し、また成長分野への投資を推進。

投資内容	投資目的・効果	総投資額	完了時期
札幌製作所移転	- 北海道工リア非住宅伸長を見据えた生産能力拡大。 - 製造・物流拠点の統合による顧客対応力、業務効率強化、配送日数短縮。 - 老朽化対策。	25.5億円	2027年6月 (竣工予定)
技術研究棟	- 恒温恒湿や遮光性などを測定できる多様な試験装置の集約によるタイムリーな製品評価・試験の実施と試験スペースの拡大に伴う複数案件の同時進行により開発スピードと質が向上。 - 新技術・新素材・新製法等の新たな技術開発への取り組みを今後強化。	7.2億円	2024年10月
新成形棟 (立川機工)	- 生産設備・機能の集約化による生産性向上、品質改善。 - 外注部品の内製化（稼働から直近までの累計削減額 0.7億円）と、グループサプライチェーンの強化。	5.8億円	2023年4月
サーボモータ事業譲受 (富士変速機)	- 生産・物流現場の自動化・省人化に向け、今後 無人搬送車や無人搬送ロボットの需要が拡大し制御機能が優れているサーボモータの伸長が期待できる。 5ヵ年（2024-28年）売上計画 総額11億円の見込み。	2.0億円	2024年1月

- ・製品開発力の強化と新しい技術開発を目的とした、技術研究棟が2024年10月に稼働。
- ・その他、グループ子会社である立川機工では新成形棟が稼働、富士変速機では減速機事業拡大を目的にサーボモータ事業を譲受。
- ・札幌製作所移転は、2027年6月竣工予定。

技術研究棟

概要

稼働時期	2024年10月
投資額	7.2億円
用途	新規研究開発・実証試験拠点

- 4階建の施設内には、恒温恒湿試験室や遮光性試験室、音響測定室、最大高さ8mの製品検証設備などの多彩な研究・評価設備を設置。これまで各拠点に点在していた研究・評価設備を集約したことで研究開発のスピードと質が向上。

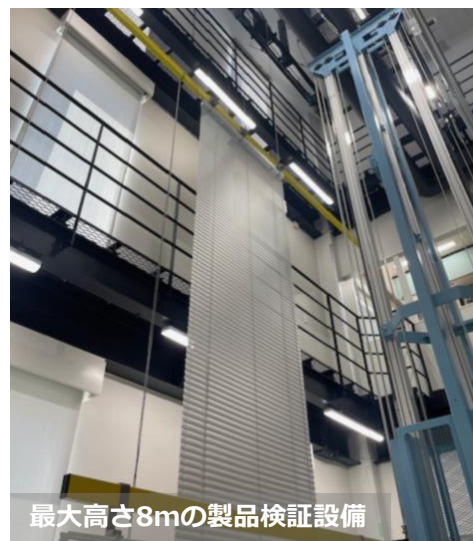
研究・開発拠点の集約と高度な研究・評価設備を活用した開発スピードと質向上

特長	各種研究・評価設備の集約・充実 実際の設置環境下での実証実験エリア 省エネと快適性を両立した建物設計
----	--

- 近年の高層ビルで採用されているダブルスキンサッシを用いた効果検証や太陽エネルギーを利用した製品研究など、実際の設置場所や使い方を想定した環境下での実証試験を強化。
- 空調・照明の一括管理などの建物全体のエネルギー消費の最適化と快適性を両立した建物設計となっており、「BELS」の最高位と「ZEB Ready」の認証を取得。



技術研究棟 外観



最大高さ8mの製品検証設備



実際の環境を想定した実証試験室

- ・ 2023年から2025年までの連結営業キャッシュイン120億円を原資に、株主還元と成長投資を強化。
- ・ 成長投資枠を60億円（当初46億円）、株主還元を42億円（当初28億円）に拡大。

	最新投資計画 (2023-2025)	主な投資内容	2023-2025年 3ヶ年期間	総投資額	完了時期
営業CF 120億円 以上	維持投資 20億円	・ 既存事業継続の為の必要投資			
	成長投資 60億円	・ 札幌製作所移転	13.1億円	25.5億円	2027年竣工予定
		・ 成長製品群の生産体制整備 （間仕切、ファブリック製品生産棟建設など）	2.7億円	40.0億円	2025年 ～2028年計画
		・ 広島支店新設	4.7億円	5.5億円	2026年竣工予定
		・ 技術研究棟新設	7.2億円	7.2億円	2024年10月
		・ 関東支店新設	0.9億円	2.1億円	2023年5月
		・ 新成形棟（立川機工）	3.3億円	5.8億円	2023年4月
		・ サーボモータ事業 譲受	2.0億円	2.0億円	2024年1月
		・ 事業領域拡大とアライアンス推進	10.0億円	（今後更なる増加を検討）	
	株主還元 42億円	・ 累進配当継続（今期増配） ・ 機動的な自己株式の取得	42.0億円	今後も累進配当継続	



3. 企業価値向上の取組み

(資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応)

PBRの状況

	2024年						2025年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
PBR	0.55倍	0.50倍	0.50倍	0.50倍	0.51倍	0.51倍	0.53倍	0.53倍	0.57倍	0.56倍	0.56倍	0.60倍	0.64倍
株価	1,398円	1,279円	1,290円	1,320円	1,347円	1,350円	1,421円	1,419円	1,517円	1,498円	1,502円	1,608円	1,712円
1株純資産	2,565円			2,636円			2,666円			2,686円			2,686円
ROE	5.7%						5.8%(予測)						
PER	9.4倍	8.6倍	8.7倍	8.9倍	9.1倍	9.1倍	9.2倍	9.2倍	9.8倍	9.7倍	9.7倍	10.4倍	11.1倍

【現状分析】

- ・ 資本コスト（6%程度と推定：CAPM）を上回るROEを計上出来ておらずPBRは1倍割れの状態が続いている
- ・ 2025年以降、株価が上昇傾向にあり、PBR・PERが上昇

株価推移



【課題】

- ・ 資本コストを上回るROEを計上していくことが必要
・・・最低限7%は必要
- ・ 事業の成長性に対する期待を高め更なる企業価値向上を進めていくことが課題

指 標		状 況		具体的な取組み
ROE	2023年 6.0%	2024年 5.7%	・ 資産・資本の効率性指標が低下	
	売上高 当期純利益率	6.6% 6.8% (+0.2%)	・ 価格改定等を進め、増益を確保 ・ 2023-2025 中期経営計画の利益目標は達成見通し ・ 住宅着工が減少に向かうなか、将来的な成長が課題	
	総資産回転率	0.66回転 0.65回転 (△0.01回転)	・ 原材料価格の高騰により棚卸資産が増加 ・ 積極的な設備投資の推進により固定資産が増加	
	財務レバレッジ	1.40倍 1.28倍 (△0.12倍)	・ 上場子会社の完全子会社化により、自己資本が増加し指標が大きく低下	
			・ 成長製品群の拡販（生産設備の増強） ・ 事業領域の拡大・アライアンスの推進 ・ 活用見込みのない不動産稼働率の低い福利厚生施設の売却 ・ 政策保有株式の売却 ・ 株主還元の強化（増配ペースの引上げ）	

2025年度における増配の実施

- ・ 中間配当 前回発表時（1株17円）より3円増配し、1株20円へ修正。
- ・ 期末配当 前回発表時（1株38円）より7円増配し、1株45円へ修正。（年間10円増配）
- ・ 当初中期経営計画（1株46円）に対しては、年間19円増配。

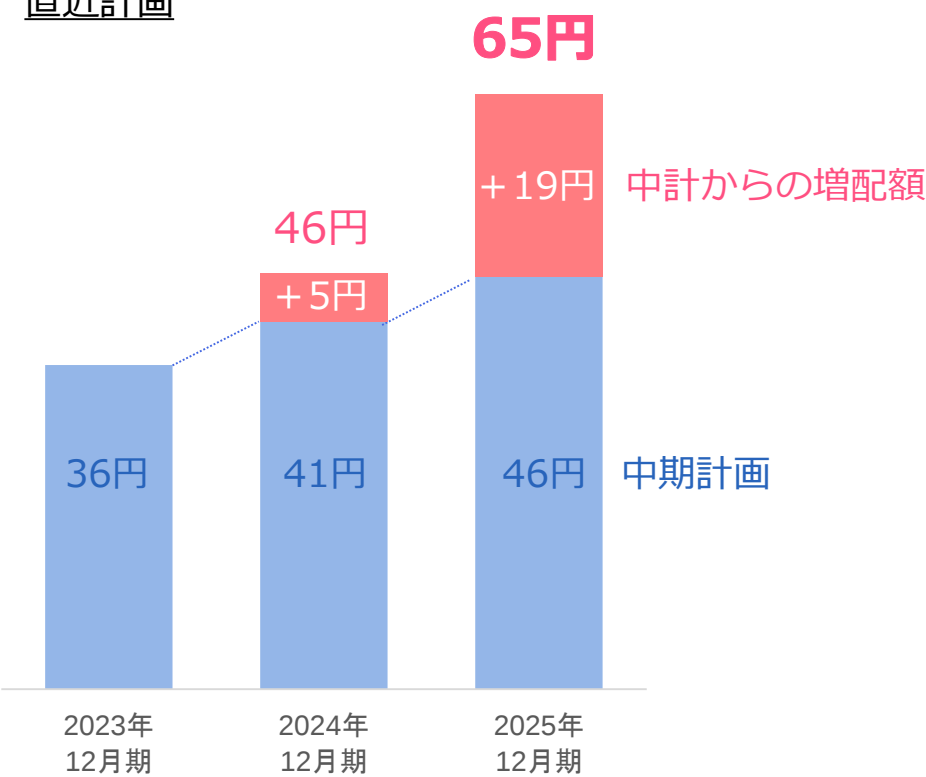
株主還元の方針

- ・ 減配せず、配当水準を維持 または 増配を継続。【累進配当】
- ・ 増配ペースを引上げ、経営環境に応じ自己株式の取得を進め、総還元性向50%以上を目指す。

配当予想

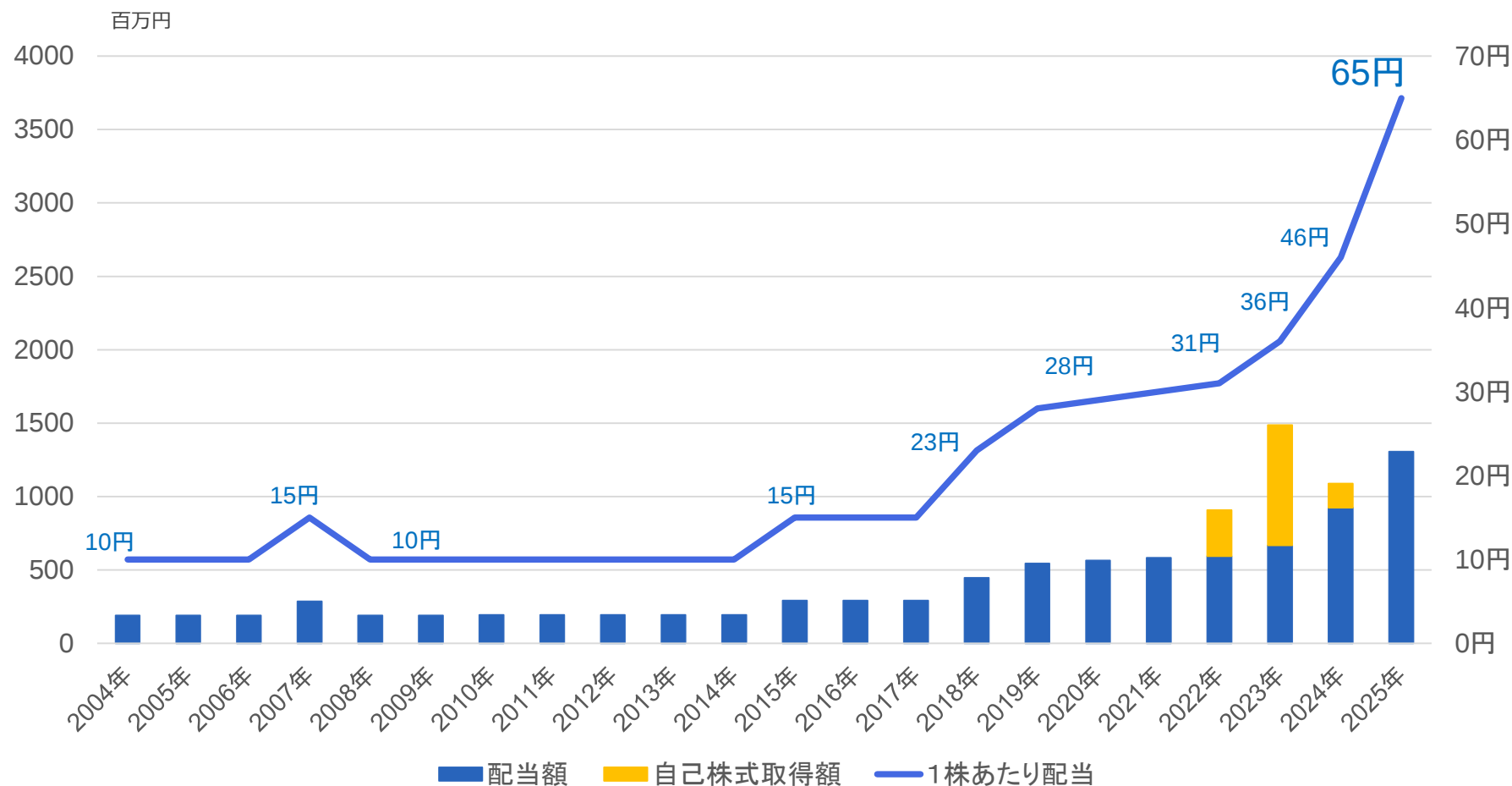
	2023年 12月期	2024年 12月期	2025年 12月期
当初 中期経営計画	36円	41円	46円
今期 年初計画	—	—	55円
今回 修正予想	—	—	65円
実 績	36円	46円	—
配当性向	25.1%	31.0%	42.1%
総還元性向	55.3%	36.8%	42.1%
中計からの増配額	—	+ 5円	+ 19円

直近計画



累進配当の継続

- ・過年度においては、16期連続減配なし。[8期連続増配](#)。
- ・2014年まで10円を基本としていたが、増配を続け 今期は65円。
今後も累進配当を継続。



将来見通し等に関する注意事項

本資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。



Appendix

社名	立川ブラインド工業株式会社 証券コード7989
創業	1938(昭和13)年5月 ※1947(昭和22)年に株式会社改組
資本金	44億7,500万円
連結総資産	638億円 (2024年12月末現在)
売上高	連結 414億円、単体 316億円 (2024年12月期)
従業員	連結 1,315人、単体 854人 (2024年12月末現在)
本社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業	各種ブラインド／間仕切／ カーテンレールの製造・販売・設計施工 【営業拠点】全国 14支店 57営業所(出張所含む) 【製造拠点】2工場 3製作所 【ショールーム】10カ所 (海外1カ所含む) 【ディスプレイスペース】2カ所 【連結子会社】 8社



本社



本社 リフレッシュ&ワークスペース

支店・営業所 国内71カ所
ショールーム 国内11カ所
ディスプレイスペース



2工場・3製作所



《主要拠点にショールーム
ディスプレイスペースを設置》

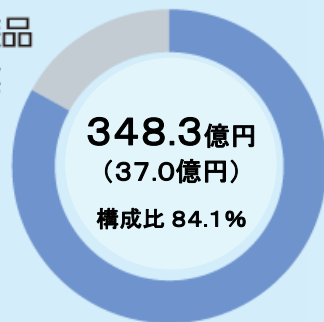
- 銀座ショールーム
- 札幌ショールーム
- 仙台ショールーム
- さいたまショールーム
- 横浜ショールーム
- 名古屋ショールーム
- 大阪ショールーム
- 広島ショールーム
- 福岡ショールーム
- 上海ショールーム ……海外(中国)
- 新潟ディスプレイスペース
- 金沢ディスプレイスペース

※2024年12月31日現在

売上高(営業利益)

2024年12月期

室内外装品
関連事業



事業概要

各種ブラインド、
可動式間仕切り等の製造
ならびに販売

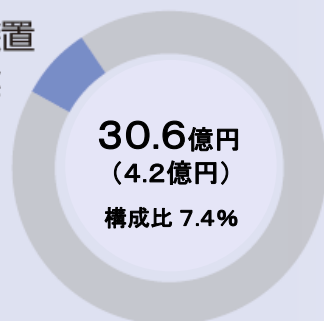
主な製品

- ブラインド
(ヨコ型・タテ型)
- ロールスクリーン
- 間仕切り
- カーテンレール



ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」

駐車場装置
関連事業



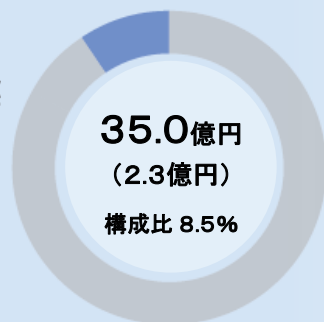
機械式立体駐車装置の
製造・販売ならびに保守点検

- エレベーター方式・
くし歯式立体駐車場
- 地下式駐車場
- 軽自動車用立体駐車場



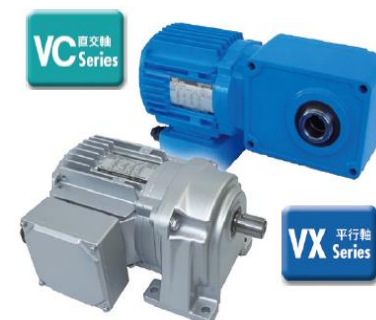
エレベーター方式・
くし歯式立体駐車場

減速機
関連事業



減速機類の製造ならびに
販売

- 汎用減速機
(ギヤードモータ)
- 特殊減速機
- シャッター駆動装置



汎用減速機
(ギヤードモータ)

建築物内外の生活環境の改善による社会貢献

家庭 (HOME)

企業 (OFFICE)

都市 (PUBLIC)

室内外装品関連事業

光を演出する、お部屋をコーディネートする

本当にリラックスでき、快適さを実感できる空間とはなにか。私たちは、性能、素材、色彩など、さまざまな視点からその本質を常に追求しています。



高度化するビジネス空間を、もっと快適に

オフィスで働く人たちが仕事に専念できる環境をつくるために、優れた操作性や省エネ効果の高いブラインドなどを取り揃え、あらゆる快適な空間づくりの提案を行っています。



公共施設にふさわしい快適性を追求

当社のブラインドは、庁舎やホテル、学校、病院、スポーツ施設など都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入し、多くの人々の暮らしに貢献しています。



減速機関連事業

産業から暮らしの分野まで機械装置の動力源を支え、省人化に貢献

減速機とは、歯車で動力(モータ)の回転速度を減じて大きな力を出す機械装置であり、産業用機械の動力源を担っています。当社の製品は産業分野から暮らしの分野まで、幅広い分野で使用されており、近年では工場の生産システム自動化(FA)ニーズの高まりを受け、産業用ロボットや無人搬送台車などの駆動部分、医療・介護分野の機器等幅広く使用されています。



駐車場装置関連事業

都市における駐車場問題の解決や省スペースの有効活用に貢献

機械式立体駐車場とは、限られたスペースを有効活用し、複数の車を駐車できる装置です。主力製品である「パズルタワー」は、独自技術である「くし歯式」を採用しており、低騒音・低振動、耐震性、省エネを実現しています。近年は、都市再開発のマンション用駐車場の建て替え需要や、海外観光客の増加(インバウンド需要)によるホテル併設の機械式立体駐車場のニーズに対応しています。



豊富なバリエーションを取り揃え、快適な環境づくりに貢献

■ ヨコ型ブラインド

パーフェクトシルキー

スラットにコードを通す穴がなく、遮蔽性・遮光性・意匠性に優れた最上級のヨコ型ブラインド。



シルキーシェイディRDS/ シルキーRDS

光漏れを低減し、意匠性を高めたシルキーシェイディRDS。スタンダードなシルキーRDS



■ プリーツスクリーン

ゼファー／フィユ／ペルレ

プリーツ状に加工した生地を上下に開閉することで採光をコントロール。すっきりしたフォルムのスクリーン。



■ 木製ブラインド

フォレティアエグゼ／フォレティア

天然木を使用し、多彩なカラーや樹種をラインナップした意匠性に優れた木製のブラインド。



■ デザインブラインド

アフタービートエグゼ／アフタービート

3つのマテリアル(アルミ・木・ファブリック)の組み合わせが魅力のデザインブラインド。



■ ハニカムスクリーン

ブレア

ハニカム(蜂の巣)構造の生地がつくる空気層により断熱性が高く、意匠性に優れたスクリーン。



■ ロールスクリーン

ラルクシールド

生地デザイン、カラー、機能が豊富なロールスクリーン。ワイドサッシから小窓まで幅広く対応。



調光ロールスクリーン ルミエ/ デュオレ

2枚のレースの間にドレープを配した立体構造のルミエ。2枚のボーダー柄の生地を前後に配したデュオレ。



■ 間仕切

プレイス／プレイス スウィング

多彩な格納方式と出入りの方法で、仕切りや目隠し、扉など幅広いシーンにおすすめのパネル間仕切り。



■ タテ型ブラインド

ラインドレープ

スラットのデザイン、カラー、機能が豊富な住宅向けタテ型ブラインド。



調光タテ型ブラインド エアレ

U字状の生地で、タテ型ブラインドのスタイリッシュさとカーテンの優しい雰囲気をも併せ持つタテ型ブラインド。



■ カーテンレール/ ピクチャーレール

デザイン性、機能性に優れた豊富なラインナップとカラーバリエーションで、用途や部位に合わせて選べる。



用途に合わせて応用可能な減速機により、産業から暮らしの分野で貢献

減速機関連事業

減速機とは歯車で動力(モータ)の回転速度を減じて大きな力を出す機械装置です。出力から減速比に比例したトルク(回転力)を得ることができます。

当社の減速機は、歯車技術を活用し、産業から暮らしの分野まで、幅広い分野で使用されています。VXシリーズ(平行軸)、VCシリーズ(直交軸)や過負荷保護装置付の減速機を標準ラインナップし、それら標準型のアレンジ対応、またこれらの歯車技術を活用した各種装置や機器を設計・製造しています。

ギヤードモータ (VC series VX series)



標準仕様

- ・トップランナー基準対応*
- ・インバータによる可変速運転
- ・ブレーキ手動解放装置付き
- ・異電圧対応
- ・防水対応(IP65)一部機種のみ
- ・低騒音・剛性・長寿命

*トップランナー基準対応(省エネ法に基づくエネルギー消費効率の基準値をクリアしたモータ(モータ出力0.75kw以上が対象))

食品機械向け仕様

- ・H1グリース(食品機械用)
- ・ステンレス出力軸
- ・抗菌塗装
- ・ファンレスモータ(微粉体飛散防止)

駐車場装置関連事業

当社は、くし歯式など、独自の技術に基づき、様々な状況に対応できるパーキングシステムを開発しています。都市再開発事業から、ホテル、福祉施設、病院、高層集合住宅などあらゆるニーズに付加価値の高い技術・製品をご提供できるよう豊富なラインナップを揃えています。

タワー式パーキングシステム (パズルタワー)



- ・「パズルタワー」は、業界に先駆けてパレットレスを実現した、理想的なエレベータ方式・くし歯式です。
- ・くし歯式の独自性あふれる技術開発により、比類のないハイスピードな入出庫をはじめ、低騒音・低振動、耐震性、省エネを実現しています。
- ・横行装置は高い免震効果を発揮し、東日本大震災はじめ各地大地震での車両落下ゼロ件でした。

ハイスピード
入出庫

省エネ・省資源

耐震構造
低騒音・低振動

安全性

SUPER PUZZLE GS (地下式パーキングシステム)

地下に走行台車をプラスし、パズルタワーのくし歯式を最大限応用した製品が「スーパーパズルGS」です。くし歯式のため、連続入出庫処理が迅速かつ安全に対応できます。



地下スペースの
有効活用

ハイスピード
入出庫

GS/耐力壁に対応

低騒音・低振動